



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

Tsuruoka Rotary Club

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成22年9月21日(火) 第2513回(本年度第10回)例会

1959年6月9日創立 ●例会場: 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10 ●例会日: 毎週火曜日(12:30~13:30)

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

本日(10/5)のメインプログラム

新入会員スピーチ
前田 優君

次週(10/12)のメインプログラム

ゲストスピーチ
米山奨学生

会長挨拶 佐藤孝子 英語弁論大会第1位、第2位のスピーチをどうぞ！

皆さんこんにちは！

先週は例会お休みして、阿部副会長大変お世話になりました。有り難うございました。

報告の時期が遅く成りましたが、9月8日児童考案創作展の審査会に行って来ました。鶴岡ロータリー会長賞は12日の表彰式で樋渡さんに代行して頂きました。有り難うございました。

9月9日は中、高英語弁論大会に初めて参加させて頂き、素晴らしいスピーチを聞かせて頂きました。今日は1位、2位の羽黒高校3年生のお2人をゲストにお迎え出来ました。今回はベスト3が全て羽黒高校生、ご一緒させて頂いた福原校長にお祝いの言葉をお掛けし、例会でのスピーチをお願いした所、快諾して頂け感謝しています。皆さん29日に県大会に参加されるお2人のスピーチどうぞ楽しみにお聞き下さい。

いよいよ地区大会が日前に迫りました。どうぞ会員の皆さん御協力よろしくお願ひ致します。

10月3日、香頭ヶ浜海岸清掃(いもに会)がございます。大勢の皆さんの参加よろしくお願ひ致します。

英語弁論大会特別スピーチ

「The Time Bomb of Life」 羽黒高 工藤かんな
「Silence of the Sheep」 羽黒高 森屋 ゆい

命の時限爆弾

工藤かんな

<要旨>

誰もが「命のスイッチ」を押してこの世に産まれてくる。そのことに誰も気づいていない。わたし達は自分のその時がいつ止まるのか知ることは出来ない。



私がアメリカ留学中に母が送ってくれた『幸福のための時間の使い方』という本を読んだ。そこには「命の時限爆弾」ということが書かれていた。私たちがよくよ悩んだり、不平を言ったりしている間にもその時計の針は進んでいく。私はかつて経験したことのない衝撃を味わった。私はこれまで不平ばかり言ってきたが、こんなことをしていても何も解決しないということに気づいた。幸い私には英語というカードがある。諦めていたSTEPテストをニューヨークで受験しようと思った。それからの私はアメリカの大学で日本語の講義をしたり、ジャズコンサートで歌ったり、地球温暖化問題のスピーチ原稿を書いたり積極的に活動するようになった。だんだん忙しくなり、自分の殻に閉じこもっていた頃とは違って、自分に自信が持てるようになった。私の次の目標はアメリカの大学レベルの英語力を身につけることである。時間は限られている。自分の可能性を高める努力を怠ってはいけないと強く感じている。

羊の沈黙

森屋ゆい

<要旨>

日本人は勤勉で頭がいいといわれているが、自分の考えをはっきりと言わない。まるで羊のように。中国の留学生が日本



出席報告

会員数	39名
出席	30名
出席率	76.92%
前々回確定出席率	94.87%

■RI会長 レイ・クリンギンスミス

■地区ガバナー 塚原初男

■会長/佐藤孝子 ■幹事/青柳孝治 ■会長エレクト/青柳孝治
■副会長/阿部純次 ■会報委員会/樋渡美智子・嶺岸禮三

事務局: 鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235)28-3375 FAX (0235)28-3376

人は自分の意見をはっきり言わないといっているのを新聞で読んだ。私がアメリカに留学中アメリカと日本の違いに驚いたことがある。アメリカの生徒はよく質問する。先生の質問にもよく答える。その答えに自信が無くてもある。ノートをとっている生徒は少なかった。日本での私はまるでロボット。自分の意見を持てず、他人の意見に同意するだけだった。私たちが羊のような状態であるのは歴史的なことだと思う。日本人は農耕民族であり、集団で作物を作ってきた。集団のルールに従っている限り安全でお互いに心伝いで生活できた。しかし今の時代、何を考え何をしたいのか言わなければ、国際社会に理解されない。心と口を開いて人間らしいコミュニケーションをしていく努力が必要ではないか。羊のように黙っているのはいけないと思う。

RI会長代理中島氏より塚原ガバナーへ手紙
地区大会の成功を祝す

国際ロータリー第 2800 地区

ガバナー 塚原初男様

この度は、種々お世話に相成りました。有難うございました。立派な地区大会でございました。昨夜、九里 PDG からお電話を頂戴し、貴方様からお電話で地区大会の報告を頂戴したこと、「大成功裡に収めることができました。」と伝えて来てくれたことを非常に喜んで居られました。

地区的 PDG の皆様は、良く出来た方が多く、ご一緒させて頂いて、非常に楽しゅうございました。ロータリアンも熱心な方が多く、多くのロータリアンと語り合い、学び合いました。交換した名刺の数も、今までに会長代理で寄せて頂いた地区大会の中で、一番多かったと思います。

高橋地区大会実行委員長さんにお連れ頂いた『藤沢周平記念館』も印象的でございました。すっかり海坂藩の情緒に浸ることが出来ました。益々周平ファンになりました。



貴地区大会へ参加させて頂いたことによる大きな成果の一つは、大規模二酸化炭素排出源から二酸化炭素を回収し、地下深くに貯留出来ることを学んだ事であります。

国際ロータリーにおいて環境問題は常に重く扱われ

ています。1992 年の規定審議会で「RI は、加盟クラブに対して、必要最低限度の生活条件を高め、地球が人類に好ましい場所として生き残ることができるようになり、さらに社会奉仕及び世界社会奉仕プロジェクトにおいて環境保全及び改善に重点を置くよう奨励する。クラブは、こうした事実に対して、政府、地域、産業界の注意を喚起できる立場にある。さらに、RI は、環境保全を目指し、絶滅の危機に瀕する動植物を保護する行動を支援するのは、ロータリアンひとりひとりの責務である」と決議しております。

二酸化炭素の数値的なコントロールに関しては、米国自身が京都議定書にもサインしていないことも有つて、今一、積極的なアプローチを取ろうと致しません。今年 11 月に行われる大阪でのロータリー研究会において 11 月 25 日(金)1400 ~ 1600 に開催される『ガバナーカー』は、RI 会長と 34 人の日本人ガバナーだけが話し合う会で、ガバナーに物申す絶好のチャンスであります。優秀な通訳が付いておりますので、日本語で話せる訳で、「二酸化炭素の地球環境に及ぼす悪影響は危機的状況に有り、一人一人のロータリアン、一つ一つのロータリークラブが重大な関心を持ち、行動を起こすべき時に来ている、そう言った折、RI の会長重要事項の中に、この問題が入っていないのは非常に不合理である。是非取り上げて然る可きである。」と一席ぶって下さい。

このロータリー研究会でお目に掛かれますことを楽しみに致しております。クリンギンスミス会長には、「日本で今年度最初に地区大会を開いた 2800 地区の地区大会に会長代理として参加させて頂いて、感謝している。今までに数多くの地区大会に会長代理として参加しているが、今年度の 2800 地区の地区大会は抜群の出来で、参加者に感動を与え、今後の奉仕活動に大きいなる動機付けとなったと確信している。」と直接伝える所存です。

奥様に宜しくお伝え下さい。

中島治一郎

委員会報告

★出席委員会

○ゲスト

羽黒高等学校 教諭 佐藤 聰先生

羽黒高等学校 工藤かんなさん、森屋ゆいさん

○ビジター

佐藤 宏一君(鶴岡東ロータリークラブ)

○マークアップされた方

早崎 弘君、大塚勝夫君、塚原初男君、加藤 賢君

伊藤 博君、吉野隆一君、上野欣一君

西川富美子君、樋渡美智子君

スマイル

佐藤孝子君 先週休会したお詫びと、スピーチのお二人ありがとうございます。

藤川享胤君 上位入賞できるように頑張ってください。

石田 雄君 10/1 に鶴岡市政功労賞を頂くことになりました。皆々様に感謝申し上げます。